



タイムスタンプの精度の向上

- [機能の概要と変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (2 ページ)
- [モニタリングおよびトラブルシューティング](#) (2 ページ)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	P-GW
該当プラットフォーム	• ASR 5500 • VPC-DI • VPC-SI
機能のデフォルト	無効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	• <i>P-GW Administration Guide</i> • <i>Statistics and Counters Reference</i>

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
show active-charging flows full debug-info all コマンドが拡張され、VPP とセッションマネージャ間のタイムスタンプの精度が表示されるようになりました。詳細については、『 <i>P-GW Administration Guide</i> 』の「VPP メトリックの機能拡張」の章を参照してください。	21.27

機能説明

データパケットがオフロードされると、最後に到着したパケットから計算されたティックは、セッションマネージャの Starent Network Transmission (SNX) グローバルティックタイムよりも遅れが生じます。これにより、VPP とセッションマネージャの間で時刻が同期されなくなります。フロータイムアウトが誤って推定されるため、フローがセッションから削除されます。

show active-charging flows full debug-info all コマンドが拡張され、正しいフローアイドルタイムアウトが表示されるようになりました。

モニタリングおよびトラブルシューティング

ここでは、この機能をサポートする **show** コマンドを使ったモニタリングと障害対応の方法について説明します。

コマンドと出力の表示

この項では、この機能の **show** コマンドとそれらの出力に関する情報を示します。

show active-charging flows full debug-info all

表 1: **show active-charging flows full debug-info all** コマンド出力の説明

フィールド	説明
Last Active Tick Time	データパケットの最後のアクティブなティック時間を示します。
Current Tick Time	現在のシステムティック時刻を示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。